



デジタルとエネルギーの変革に貢献し 新たな社会的価値を創造する

TDKは1935年、東京工業大学が発明した、磁性材料「フェライト」の事業化を目的として創業しました。それは、これまでにない価値を創造し、世の中のお役に立ちたいという創業者の思いによるものです。当時、用途も分からなかったフェライトの可能性を信じた、まさに“大学発のベンチャー企業”と言える挑戦でもありました。

このフェライトを源流とした素材技術と、素材の特性を最大限に引き出すプロセス技術、評価・シミュレーション技術、製品設計技術、生産技術という、5つのコアテクノロジーを駆使したモノづくりによって、TDKは、オリジナリティと高い価値をもった製品を創造し続けてまいりました。今日、TDKの製品群はコンデンサ、インダクタ、トランス、センサ、アクチュエータ、磁気ヘッド、マグネット、電源、電池などの多種多様な電子部品・電子デバイスに広がっています。

そして今はIoTやAIなどを活用したデジタル・トランスフォーメーション(DX)と、再生可能エネルギーの拡大

などによるエネルギー・トランスフォーメーション(EX)という歴史的変革の中にあって、電子部品・電子デバイスの重要性はかつてないほど高まっています。TDKは自動車、ICT(情報通信技術)、産業機器・エネルギーを重点分野として、社会のDXとEXの実現に貢献してまいります。

TDKは世界30以上の国や地域に200カ所以上の拠点を展開しており、従業員は10万人以上に達しています。そのうち、日本以外の拠点に在籍している従業員は約90%にのぼり、多様性溢れる人材はTDKの大きな強みです。この強みを生かしたグローバル人材の活用やグローバルなガバナンス体制によって、成長戦略を確かなものにしていきます。

TDKには、世の中のお役に立つ、社会に貢献するという創業からのDNAが脈々と受け継がれており、2015年に国連で採択された「SDGs(持続可能な開発目標)」にも積極的に取り組んでいます。ポスト・コロナ時代においてもサステナブルな社会を実現するため、TDKはDXとEXに貢献し、新たな社会的価値を創造してまいります。

代表取締役社長
石黒 成直